

平成24年度年間授業計画(シラバス)		第2学年・算数
月	学習内容(単元)	年間学習目標
4	・ひょうとグラフ	<p><b>【算数への関心・意欲・態度】</b> ○数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととするとともに、学んだことを進んで用いようとする。</p> <p><b>【数学的な考え方】</b> ○習ったことを生かしながら具体物を用いた活動を通して、関係をとらえたり表し方を考えたりできる。</p> <p><b>【数量や図形についての表現・処理】</b> ○2位数までの加法・減法、乗法九九の計算が確実にでき、それを用いることができるとともに、長さ(mm, cm, m)の測定や図形(三角形・四角形)を作図できる。</p> <p><b>【数量や図形についての知識・理解】</b> ○4位数までの整数の意味と表し方、計算の意味、長さの単位や時刻、三角形・四角形の特徴などを理解できる。</p>
	・時こくと時間	
5	・たし算のひっ算	
	・ひき算のひっ算	
6	・長さのたんい	
	・3けたの数	
7	・水のかさのたんい	
	・計算のくふう	
9	・たし算とひき算のひっさん	
10	・三角形と四角形	
	・分数	
11	・かけ算(1)(2)	
12	・4けたの数	
	・長いものの長さのたんい	
1	・たし算とひき算	
2	・はこの形	
3	・2年のまとめ	
年間授業時数		175
授業の工夫	<p>○「算数は楽しい、おもしろい」と子どもたちが感じてくれるような授業をめざす。身近な生活の中から問題を取り上げ、実際に数えたり測ったりつくったりする活動を通して、子どもたちが主体的に取り組むような工夫をする。</p> <p>○2年生ではかけ算の学習が大きな割合を占めるので、乗法の用いられる場合について考えさせるとともに、九九カードを活用し、完全習得を図っていく。</p> <p>○ステップ学習を通して基本的な学習内容の定着を図る。</p>	
評価について	○単元ごとのテストだけでなく、平素のプリントやノート、学習中の活動意欲や発表なども加味して評価する。	
学習方法(家庭学習)など	○2位数までのたし算・ひき算、かけ算九九等の確実な定着を図るため、ドリルやプリント等を家庭学習として課す。特に後期はかけ算九九の定着のために、九九カードの反復練習への支援を、家庭にもお願いをする。	